

坂和総合法律事務所

事務所だより

第7号 2006（平成18）年盛夏号

編集・発行：坂和総合法律事務所

〒530-0047

大阪市北区西天満3丁目4番6号

西天満コートビル3階

TEL06(6364)5871・FAX06(6364)5820

メール office@sakawa-lawoffice.gr.jp

<http://www.sakawa-lawoffice.gr.jp>



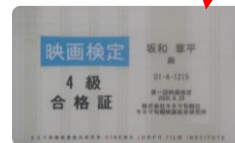
坂和総合法律事務所、全員集合！
チームワークよく、暑さに負けず
がんばってます。

（写真上から）

稲井 永田 金子 松下
嶋津 坂和 細谷



これが
4級合格証



映画評論家「SHOW-HEY」
の名をかけて（？）6/25映画検定
4級を受験した坂和弁護士。9割
できたという坂和弁護士の言葉に
半信半疑の事務局でしたが、7/25
無事合格の通知が届きました。
次は3級をめざすぞー！！

2/10～11の金沢旅行、石川県立歴史博物館にて。
前田利家ばりの戦国武将姿にご満悦の坂和弁護士。

暑中お見舞い申し上げます。

昨年は8月4日の参議院本会議における郵政民営化法案否決による衆議院の解散と9・11総選挙に向けた闘い一色となった暑い夏でした。今年の夏は小泉退陣を受けて「9・8告示、9・20開投票」となる自民党の総裁選挙に向けた闘いが見モノです。

北朝鮮による7発の弾道ミサイル発射という暴挙を受けて、7月16日には国連安全保障理事会の全会一致による非難決議が成立しましたが、これは問題の端緒にすぎず、これからが日本外交の腕の見せどころです。さて、私たちの期待にどのように応えてくれるのでしょうか・・・？そんな中、皆様も是非33年ぶりにリメイクされた映画『日本沈没』を観て、政府や外務省・防衛庁などとともにわが国の「危機管理体制のあり方」を考えてもらいたいものです。

他方、今年前半の社会問題は、昨年から続く耐震強度偽装問題とホリエモン・村上ファンド問題、そして福井日銀総裁の投資問題で

したが、今後さらにどんな問題が飛び出すのでしょうか。ひょっとしてオリックスの宮内義彦会長や竹中平蔵大臣にまで飛び火するかも・・・？いろいろと多方面にわたってアンテナを張っておきたいものです。

そして、今夏最大の注目点は、小泉首相による最後の靖国神社参拝の有無と参拝する場合の時期・方法。これによって日中韓の関係はもとより自民党総裁選挙の行方も大きな影響を受けること必至です。暑い暑いところ寝三昧の生活に陥ることなく、日本国民1人1人が主体性を持ってこれらの問題を考え対処していくことが大切です。それが北朝鮮とは異なる自由と民主主義の国である日本国民の義務であることを、私は今夏、関学ロースクールでの都市法の集中講義で熱く語るつもりです。

皆様のご健勝を願っています。

2006（平成18）年盛夏

坂和総合法律事務所

所長 弁護士 坂和 章平

事務所の近況報告

1. 津山再開発関連訴訟ですべて完全勝訴！

岡山県津山市の再開発をめぐる、2001年5月に県知事による是正命令が出されたのは、再開発組合資金の不正流用問題を契機としたもの。そこで、①公的資金投入、②債権放棄、③都市再開発法39条にもとづく賦課金の徴収という「県のスキーム」にしたがって実施した組合総会による「賦課金決議」に対して、「総会の決議無効確認訴訟」が提起された。その他にも再開発組合の破産申立などさまざまな訴訟が提起され、津山はまさに再開発関連訴訟のデパートとなった。私は再開発組合の代理人としてそれらの訴訟をすべて受任し勝訴してきたが、今般（7月4日）、最高裁判所は、反対派の申告を棄却したため同訴訟は確定した。これは重要判例として歴史に残るもので、私としては阿倍野再開発訴訟における最高裁判例（最判平成4年11月26日）と同じように価値のあるもの。今後は東京簡裁を舞台とした調停で、来年3月の「組合解散」に向けて最後の頑張りが必要。そしてその後は、みんなで一緒に『津山再開発事件奮闘記』を書かなければ・・・。

2. コーディ協での報告書が完成！

再開発の破綻が全国的に大問題となっている中、私が再開発コーディネーター協会の法制検討部会で、昨年からの取り組んでいたテーマが「再開発組合破綻の予防と対策」。東京での会議への参加は大変だったが、私にとっては貴重な異業種交流の場と位置づけて積極的に参加し発言した。コーディネーター協会の意見がこれだけ反映されたのは異例のことだが、再開発組合の破綻法制の検討について都市法を勉強している弁護士の視点が必要なことは明らか。私としては現在竹中平蔵総務大臣が問題提起をしている「自治体の破綻法制」の検討とともに、今後さらにその勉強をしていくつもり。7月末に公表されるこの報告書が各地で有効に活用されることを願っている。

3. 千里桃山台第2団地でのマンション建替え紛争が解決！

2002年12月に施行されたマンション建替え円滑化法はその名前のとおり、昭和30年代後半に建築されたマンションの建替えを円滑に進めるためのもの。ところが千里桃山台第2団地でのマンション建替え事業は、この新法を使わず旧来の等価交換方式で実施するものだった。しかも問題は、区分所有法にもとづく5分の4以上の建替え決議がギリギリだったこと。私は「マンション建替え事業は民主主義の学校」と考えているため、少数派（建替え反対派）による中間派への再度の説得を主張したが、反対派の中でも考え方が分裂することになった。しかし、T氏だけは最後まで私に任せるとの意向であったため、私は2005年7月原告1人だけの建替え決議無効確認請求訴訟を提起した。T氏も私もその狙いは同じで、トコトン居据わることではなく、建替え決議の問題点を指摘し、問題提起をすること。そんな裁判闘争も関係者すべての真摯な努力によって、今年7月すべてで和解で解決した。これはT氏にとっても私にとっても、大きな社会的勉強となった思い出となる事件。

4. 株式会社オービックの監査役に就任！

ホリエモン騒動、村上ファンド騒動に明け暮れ、今また福井日銀総裁の投資問題に日本が揺れているが、今年5月に施行された会社法をきちんと理解することはそれ以上にもっと大切なこと。1本にまとめられ体系化されたのはいいものの、一般の日本語と異なる定義をはじめ新会社法はかなりの難物で、複雑・難解な都市法と同じような弊害も・・・そんな中、ひょうたんからコマのように出てきたのが、長年私が顧問弁護士をつとめている株式会社オービックからの監査役就任の要請。本社は東京にあるため、取締役会への出席義務のある監査役となれば、月に1、2度の東京出張は大前提。しかし何でもやりたがり屋の私は、こんなチャンスがなければ会社法の勉強をすることもなし、監査役の実務を知ることでもできないため、絶好のチャンスとばかりこれを承諾。6月28日の株主総会での承認を受けて、既に監査役業務の第一歩を踏み出した。その最初の仕事は、中央青山監査法人が7月1日から2カ月間の業務停止命令を受けたことに伴う、一時会計監査人選任の是非という生々しい問題。さて、今後どんな問題が待ち受けていることや・・・？

5. 天神祭懇親パーティー開催

当事務所の7月25日は今年も天神祭パーティーで盛り上がりました。

歌手「う～み」をゲストに迎え、嶋津淳子作詞、坂和章平作詞協力、う～み作曲の『SOME～ミマモッテイルヨ・・・』、この曲が入っているう～みのファーストアルバムのタイトルにもなっているう～みのオリジナル『なとわ』などに加え、今年が目玉、新曲



『SAKAWA DESU!』（仮題）が披露されました。新曲はこの日のために嶋津が坂和弁護士の実態（？）を歌詞にしたものですが、会場からは「笑い」と「納得」をいただくことができました（6頁に歌詞掲載）。来年は坂和弁護士の美声（？）で皆様に聴いていただく予定です。今年聴き逃した方も是非来年はパーティーに参加して下さい。また『なとわ』は軽井沢 LOVE SONG AWARD2006 という全国ラブソングコンテストで、510曲ものエントリーの中で「BEST15」に入り、10月8日の決勝大会に出場が決まりました。

是非う～みの応援もよろしくお願いします。

また6月25日に坂和弁護士が挑戦した映画検定60問の中から厳選した10問について会場の皆様にも挑戦していただきました。全問正解者2名には坂和弁護士の著書がプレゼントされました。

さらに今年は会場の皆様の仕事のことや普段考えていることなどもお話していただき、楽しく有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

来年もいろいろ企画を用意して皆様に楽しんでいただきたいと思いますので、是非たくさんの方の皆様の参加をお待ちしています。

今から来年

7月25日（水）

は「坂和事務所パーティーに行く」と予定に書いておいて下さい。



坂和弁護士の近況報告

(1) 映画三昧の日々と

『シネマルーム』8、9の出版！

今年の正月は、「追悼 映画監督・野村芳太郎」への集中鑑賞(?)から始まった。「今年は一体何本観るの?」と顔色を伺う事務局長たちを尻目に、私は毎日映画三昧の日々。いよいよ、「2足のわらじ」は本格的……。その結果、2月には『シネマルームパート8』を、7月には『パート9』を出版し、目下『パート10』を製作中。さらに、6月26日には、「ナニワのオッチャン弁護士、映画を斬る!」と題して、大和ハウス工業株式会社福山支店の「安全大会」で記念講演も。また、6月15日の産経新聞大阪本社法務セミナーでも、「あなたの家は大丈夫?—耐震強度偽装問題から」と題したタイトルながら、ちゃんと映画評論ネタも……。これだけの本数の映画を観るだけでも大変だが、書くのはもっと大変。一体いつ書いているのか?ちゃんと寝ているのか?という声も聞かすが、その心配(?)はご無用。楽しいことで忙しいのは大歓迎……?

(2) 『実況中継 まちづくりの法と政策

パート4』も完成!

昨年12月2～5日の愛媛大学法学部での「都市法政策」の集中講義は、『パート4』の出版を前提としていただけたに、そのテープ起こしを含めた整理作業は手馴れたもの。耐震強度偽装問題や郵政民営化問題、9・11総選挙などに踏み込んだ熱弁により100頁近く分厚くなったが、出版社である文芸社も快く(?)これを了解。しかも学生も買いやすい価格ということで1000円以上も値下げし1890円(税込)に。これを元に、『坂和流 法情報整理ノート』の出版企画も検討中。充実度いっぱい(?)で多岐にわたる坂和節を、是非この『パート4』で。

(3) 3回目の関西学院大学

ロースクールでの集中講義

今年も7月29日、8月5日、8月12日、8月26日と土曜日を4回使って、3回目の都市法の集中講義が控えている。1年目の4名から昨年一挙に64名に増えた受講生は、今年も87名とさらにアップ。「私の講義は司法試験の合格には直接つながらないヨ」と宣言しているにもかかわらず受講生が増えているのは、一見八方破れながら、多方面にわたる切り口と実践の重要性を訴える私の講義にもそれなりのニーズがあるわけだ。私なりに「あるべきロースクールの授業の姿」を自問自答しながら、今年も一生懸命取り組む決意を新たにしているところ。

(4) 映画検定4級に見事合格!

去る6月25日に、キネマ旬報社とキネマ旬報映画総合研究所主催の第1回映画検定が実施された。これは、「映画はエンターテインメントであると同時に、多くのことを学ぶことが出来る時代の扉でもある」「映画のことを知れば知るほど、映画は楽しいものになっていく」という認識の下に考案された、「映画を

もっと楽しむための、腕試しの道場のようなもの」とはいつても、所詮自前の知識は知れたもので、『公式テキストブック』と『公式問題集』を勉強しなければ到底合格はおぼつかないもの。検定は4級、3級、2級とレベルアップしていくが、とりあえず私は4級のみを受験。検定日直前の土曜日は、30数年前の司法試験の勉強と同じように、丸1日受験勉強。その頑張りの甲斐あって、8633名の受験生の中で見事合格!ちなみに、資料1(同封の書籍注文書の裏面)はそれを報じた7月3日付朝日新聞の一部。次回は3級を目指さなくっちゃ……。

坂和宏展(ひろのぶ) 修習奮闘記～最終回

坂和弁護士の長男、59期司法修習生の坂和宏展です。

いよいよ、1年半の修習生活も終盤に近づいてきました。現在は、埼玉県和光市にある司法研修所で、後期修習として、研修所の「卒業試験」である、いわゆる二回試験に向け、起案を書いたり講評を受けるという毎日を送っています。かつては、二回試験はほとんど落第する人がいない試験だったそうですが、今では、修習生(司法試験合格者)増の影響もあってか、確実に何十人かは落ちるものだと言われており、多くの人が真剣に試験対策に追われています。

後期修習が始まると、全国の実務修習地に散らばっていた修習生仲間たちと1年ぶりに再会することになります。雰囲気は少し変わっていておどろく人、全く変わらず何となくほっとする人などいろいろです。全員、1年間の実務修習でさまざまな経験をしてきており、自分の経験していない実務がまだまだたくさんあるのだということを再確認させられたりもします。

さて、先日、ロースクール卒業生が受験する「新司法試験」の第1回試験が実施されました。公表された問題を検討してみると、やはり、法律論としては基本的なところを聞きながら、実務において「即戦力」となるための基礎である事案把握能力や事務処理能力を試しているのだという印象を受けました。おそらく、ロースクールを卒業してきた人たちは、新しい制度のもとで試行錯誤を繰り返しながら、この試験に対応できる能力を身につけているのでしょう。また、これからロースクールを卒業して新試験に挑み実務家になる人たちは、この新しい試験に対応できるような勉強を重ね、実務家になるための能力を磨いてくるのでしょう。私を含めた「旧試験」組は、そうした勉強をしてきた人たちと競争していかなければならないわけです。単純に法曹人口が増大するという問題にとどまらず、ますますこれからの努力が求められる所以でもあります。

また、それはそれとして、今年度の「旧試験」は、合格者が昨年の3分の1程度という厳しい試験になっています。私の妹を含め、旧試験に挑戦している知人も多く、こちらも、何としても合格してもらいたいと祈りながら論文試験日を迎えることになりました。私にとっての論文試験は2年前のこととなり、もはや遠い昔のことのように思われますが、もうしばらく「試験」というものから逃れられない毎日が続きます……。

* * * * *
(修習奮闘記は今回が最終回です。次回年賀冊子からは「坂和宏展新米弁護士奮闘記」の予定です。)

＊ ＊ 坂和旅行記（中国旅行 第9弾） ＊ ＊
～上海・杭州・烏鎮・無錫・鎮江・揚州
・蘇州・周庄の旅（3月16～20日）

<今回は江南8都市めぐり>

昨年10月の山東省クルーズに続く、9回目の中国旅行となった「江南8都市」めぐりの1コマをご紹介します。

美しい西湖で有名な杭州は、直行便の就航が始まった04年6月に、烏鎮・紹興とともに訪れたことのある都市。この直行便開通以降、往路と復路を杭州と上海のどちらかとして、両者を結ぶ都市を観光するツアーが増えてきた。昨年5月は「反日デモ」が吹き荒れたため中国ツアーは最悪となったが、今年は早期に観光客を呼び込むためか、3月には4泊5日で、上海・杭州・烏鎮・無錫・鎮江・揚州・蘇州・周庄の8都市を結ぶツアーが39800円という超低価格で登場！

<「呉越同舟」と「臥薪嘗胆」>

山東省クルーズで訪れた曲阜は孔子の故郷だが、孔子は春秋時代に魯の国で生まれ、BC5世紀に活躍した人。「呉越同舟」とは、呉国（江蘇省・蘇州）も越国（浙江省・杭州）もともに他国の脅威にさらされていた時に、運命を共有し、お互い仲良くしようとした時に生まれた言葉。ところが、春秋時代末期には、呉王「夫差」と越王「勾践」が対立し、抗争をくり広げた。1度は夫差に敗れて捕えられた勾践はそれを恥として復讐を誓い、「臥薪嘗胆」を掲げて力を蓄え、再び呉と戦ってこれを滅ぼした。蘇州・杭州旅行では、こんなお勉強も・・・。

<中国の四大美人とは？>

世界の三大美人は楊貴妃、クレオパトラ、小野小町だが、中国の四大美人は楊貴妃の他、西施、王昭君、貂蟬。王昭君は前漢時代に匈奴に嫁がされた美女で、貂蟬は三国時代に後漢の実権を握る董卓と呂布の仲を割いた16歳の美女。そして西施は、今回の旅行で注目すべき地元の美女。西施は、越王「勾践」が復讐の手段として呉王「夫差」に献上した女性。西施の色香に溺れた夫差は、国を滅ぼすことに。まさに「傾国の美女」とはよく言ったもの・・・。

<『無錫旅情』と太湖遊覧>

尾形大作が歌った『無錫旅情』によって一躍有名になった無錫は、昔からの錫（スズ）の産地。「項羽と劉邦」の戦いで劉邦が勝ち前漢を打ち立てたが、その時代にここのスズは掘り尽くされてしまった。そのため、この地は以降「無錫」と呼ばれるようになったとのこと。これホントの話・・・？3本マストの大きな船で遊覧した、歌にも登場する太湖の大きさは、何と琵琶湖の3.3倍。そのスケールの大きさには、ただ圧倒されるばかり・・・(写真①)。

(写真①) 太湖遊覧中！



<揚州というまちは？>

上海・杭州・蘇州・無錫はご存知でも、多くの日本人は揚州を知らないのでは？しかし、鑑真和尚の生まれ故郷といえすぐにわかるはず。杭州は細い西湖といわれる瘦西湖と鑑真記念館のある大明寺が観光のポイント。おっともう1つ、忘れてならないのは、揚州は江沢民の生まれ故郷だ。また揚州は運河のある気候温暖で豊かなまちだから、人間がのんびりしており、ゆっくりとお茶を飲む習慣が定着している。私はガイドからクラブツーリズムの旗を借用して、夕食後10名での私的ツアーによる夜のまち散策へ(写真②)。こじんまりしたまちだが、御堂筋の3倍もあるメイン通りの大きさと美しさにビックリ。

(写真②) 3足目のわらじ？坂和弁護士添乗員に！？



<久しぶりの有料トイレ>

中国旅行なんか2度と行きたくないという人の共通の認識は、中国の「トイレ事情」だが、それははるか遠い昔のこと。そう確信していた私だったが、今回は鎮江での金山寺見學で、それを体験！金山寺は東晋時代の寺院で、「天下第一泉」が有名。ところが、ここではトイレ事情が最悪！長時間のバス移動を終えるとまずトイレというのがツアー旅行の通例だが、まずレストラン内のトイレが最悪！さらに観光終了後のトイレは、久しぶりに見る1人3角（10角＝1元）の有料トイレ。そもそも、日本人ツアー客は1元、10元は持っていても、1角はもっていない。そこで「1

元払ったから3人どうぞ」という人が現れて、「お互い臭い仲になりましたね」という会話が弾むことに。08年開催の北京オリンピックを控え、北京では公衆トイレの設置に邁進中だが、観光地も早い目に・・・。

(写真③) 上海にて



坂和弁護士、日本をゆく！～第1回

◆北陸 金沢の旅(2月10～11日)

加賀百万石の金沢は、兼六園をはじめ見どころがいっぱい。学生時代には五木寛之の『内灘夫人』に惹かれて、大みそかの夜1人列車に乗り、内灘闘争のあった内灘海岸へ行ったことも・・・。

今回2/10～11の金沢旅行では、1日目は夕方の金沢城見学の後、夜は雪がチラつく中、オカリナの生演奏を聴きつつ兼六園ライトアップ～冬の段～を見学。

雪の金沢城入口にて



2日目は兼六園周辺鑑賞パスポートを使って文化施設の見学に。徳田秋声、泉鏡花、室生犀星ら、金沢ゆかりの多数の文学者の資料を集めた石川近代文学館は、何度訪れても新鮮な親しみと知的好奇心が湧く私の大好きなところ。

しかし今回のメインは、古代の暮らしから戦国時代、太平洋戦争まで、北陸や金沢の歴史を興味深く展示している石川県立歴史博物館での変身！表紙冒頭の写真は、土曜日の午前中で来館者が少なかったため実現できたものだが、鎧兜に身を固め太刀を差せば、気分はたちまち立派な戦国武将。もっとも、昨夜「近江市場」で名物の「海鮮丼」を腹一杯食べたせいか、少しポッチャリ気味・・・。

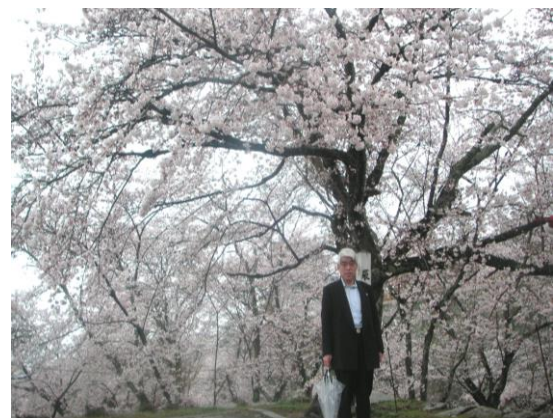
◆東京 靖国神社参拝(3月25日)

3月25日の都土研(都市的土地利用研究会)の「公開研究集会」と稲本洋之助教授の古稀祝賀会への出席の機会を利用して訪れたのが、靖国神社。その目的は、桜よりも遊就館の見学。靖国参拝をめぐって、遊就館の展示(主張)には賛否両論が対立しているが、「あの戦争をどう考えるのか」という視点からは、「遊就館史観」の学習は不可欠・・・？桜開花宣言直前の「靖国の桜」を、例によって(?)快晴の空の下で見学しながら、久しぶりに心洗われる時間を過ごすことに・・・。



◆岡山県津山市 津山さくらまつり(4月10日)

津山市の鶴山公園の桜は、山全体がピンク色に染まってしまうほど見事なもの。長年、津山の再開発をめぐる事件を担当しながら、この桜を見学したのは過去1度だけ。津山市では、再開発ビルへの対応をめぐる対立が激化し、市長リコール→市長選挙(3/19)となり、新市長が誕生した。新市長との会見のために訪れた4月9～10日、珍しく雨の中、満開で美しい鶴山公園の桜を見学することに。



事務局長のひとりごと (嶋津淳子)



青いバラはこれまで開発に成功したことがなく、英語で「ブルーローズ」といえば「ありえないこと、不可能」を意味するようですが、先日、サントリーが青いバラの開発に成功したというニュースが流れました。いきなり何の話したと思われるかもしれませんが、今年私にも「ありえない」ことが起きたということを書きたいと思います。一部からは「やっと結婚できたか」なんて声が聞こえてくるかもしれませんが、結婚なんてそんなつまらない・・・？ もっとすごいことなんです。

昨年の暑中見舞いで書きましたが、ひょんなことから私の詞にう～みさんがメロディーをつけた新曲が完成し、昨年の天神祭懇親パーティーでは坂和弁護士の美声(?)によって披露されました。また(当然ながらプロ歌手としての)う～みさんはご自分のライブでもこの曲を歌い好評だとのことでした。私にとってはこれだけでも「ありえな～い！」ことなのに、今年う～みさんのアルバム『なとわ』の中の1曲となり、歌詞カードにはしっかり「作詞 嶋津淳子」と印刷が！平成16年に『いま、法曹界がおもしろい！』(民事法研究会)を坂和・吉岡両先生と一緒に名前を出せたのも「ありえない」ことでしたが、今回はまったく畑違

いのことでもあり、私には超「青いバラ」級の「ありえない」ことが現実となりました。う～みさんからはライブでこの歌(『SOME～ミマモッテイルヨ・・・』)を歌うと反響がすごくあって「今子供と何のコミュニケーションも取れず悩んでいるが帰って子供と話してみる」という感想があった等の報告もあり「すごい」とひそかに自画自賛しています。人の心に訴えかけるう～みさんの歌唱力によるところが大きいことはまちがいありませんが、同時に私の全然知らない人が私の歌詞に共感してくれているというのは感動です。「人生捨てたもんじゃない。悪いこともあるだろうけど、びっくりするようないいことが起こるかもしれない」と本当に思います。そして人間というのは欲なもので「ありえない」ことが起きると「さらなるありえない」ことを期待してしまいます。さて、それは・・・？

皆様のお力で『SOME～ミマモッテイルヨ・・・』をヒットチャートNO1にして下さい。よろしく願いします。

そういえば、今年、私は多分、先生と「ケンカ」をしていません。なぜか平和です。昔を知っている方にはこれも「ありえない」ことなのかも・・・？

CDは当事務所までご注文下さい。⇒



定価 2,000円

事務局次長の奮闘記 (金子友次郎)

ドイツワールド杯で日本がオーストラリアに逆転負けした翌日、念願の(?)女の子が生まれて2児のパパとなった金子です。その後ジーコジャパンは、みなさんがすでにご承知のとおり、ブラジルを相手に「青いバラ」級の奇跡を起こすことなく、予選リーグ敗退となりました。

そんな日本代表の成績とともに残念なのが中田英寿選手の現役引退。年齢的にも体力的にもまだまだ限界ではないと思いますが、こればかりは「プロサッカーという旅から卒業し“新たな自分”探しの旅に出たい」という中田選手自身の気持ちの問題なので、一人のファンにすぎない私としてはどうしようもありません。

プロ野球の新庄選手の現役引退宣言にも驚きましたが、プロスポーツ選手の「引き際」には考えさせられることが多いです。Jリーグのベルマーレ平塚でプロ生活をスタートした中田選手は、高校時代からイタリア語を勉強するなど、セリエAでプレーするための明確なビジョンを持っていたといわれています。そのような先を見通す「目」というのは、本人の資質によるところが大きいと思いますが、私が坂和事務所で身につけたいと考えているものの1つです(今は全くのド近眼ですが・・・)。

そして坂和弁護士の先を見通す「目」は視力5.0ぐらいあるらしく、千里桃山台第2団地でのマンション建替え紛争では、相談の時点ですでに解決までの道のりが見えていたと思うほどの経過をたどりました(詳細は弁護士の近況報告を参照)。もちろん何でもかんでも弁護士の思惑どおりに進んでいるわけではなく、目指す(見えている)結果に向けてやるべきことを一生懸命やっているからこそ、そのような経過をたどるのだと思います。

また、このようにして現実の事件を通じて大いに社会勉強をすることができたのは、依頼者であるT氏の全幅の信頼があったからこそです。そのような出会い

★ う～み・嶋津・坂和によるメッセージソング(?)第2弾! ★

天神祭で発表!



『SAKAWA DESU!』

(仮題)

作詞 嶋津淳子

作詞協力 坂和章平

作曲 う～み

1 ^{まなこ}ねばけ 眼の事務員の
目覚まし時計はどなり声
コートビルには冬だって
大型台風 雨 あられ

台風すぎて一安心
したのも束の間 地雷爆発
会議室のお客様
つぎは我が身か ハラハラドキドキ

どうしてそんなにこわがるの
別に怒っているわけじゃない
俺の話を聞いてくれ
君の意見を聞かせてくれ

伝えたいんだ 君たちに
熱い思いを 学ぶ心を
届けたいんだ 君たちに
熱い思いと 俺の力で

2 弁護士かたわらに映画評論家
24時間仕事です
愛車の自転車すつとばす
フットワークは20代

しゃべって書いてチェックして
どんなことにも一生懸命
坂和ファンの皆皆様
阪促FAXに 戦々恐々

おい、その老若男女
興味があること何でもいいんだよ
あついで君を見せてくれ
あついで心を見せてくれ

* 伝えたいんだ 君たちに
熱い思いを 学ぶ心を
助けたいんだ 君たちを
熱い思いと 俺の力で

*くりかえし

熱いメッセージソングを生み出す異色のユニット

『う～み&淳子 with SHOW-HEY』の今後の活躍に乞ご期待!!

を1つ1つ大事にしながら先を見通す「目」を養っていきたくて考えています。差し当たっては、わが娘はきっと美人に育つに違いないといった「先」しか見えていませんが・・・え?!それはただの親バカやって?? 失礼しました。盲目のあまり親バカを通り越してバカ親にならないよう気をつけます・・・。

『不撓不屈』（高杉良原作 滝田栄主演）

建築士・公認会計士そしてホリエモン・村上ファンドと偽装の
オンパレードの日本にも、「別段賞与」をめぐって敢然と国税庁
と闘う税理士がいた。それがT K C全国会の創始者、飯塚毅。
「弱い自分」に負けそうになるあなた(？)、必見の映画！
(注文書裏面 資料2参照)

『パイレーツ・オブ・カリビアン/デッドマンズ・チェスト』

今年の夏の劇場は海賊がジャック！船乗りが最も恐れる“深海
の悪霊”から「血の契約」の履行を迫られるジャック・スパロ
ウ船長の運命は？「死者の宝箱」の中には一体ナニが？ブラッ
クパール号とともに海の藻屑と消えたジャック船長は、果たし
て不死身？けれん味タップリ(？)の大活劇に、あなたもきつ
と大満足！

『日本沈没』（小松左京原作 草薙剛、柴咲コウ主演）

1973年の大ブームから33年。338. 54日後に迫った
「日本沈没」の危機に、総理や危機管理担当大臣そして日本国民
はどのように立ち向かうのか？阪神・淡路大震災の教訓や北
朝鮮からのミサイル発射問題とともに、今あらためて日本の危
機管理体制の問題点を見直すべきでは？東海・南海・東南海地
震もすぐ間近？草薙剛のような献身的な自己犠牲に頼っては
ダメ！

『ゲド戦記』（ア・シュ・K. ルーグウィン原作 宮崎吾郎監督）

人間界に突如2匹の竜が現れた。これは世界の異変を示すもの。
『ゲド戦記』を高校時代に愛読していた宮崎駿の長男、宮崎吾
郎がその世界を独自の感性で映画化した。さてその出来はオ
ヤジを超えることができるだろうか？タイトルとは裏腹(？)
に、9・11テロ以降の混沌とした世界観の中で展開される「内
なる影との闘い」「死があるから生がある」という物語のテーマ
は、結構難解だヨ。

『紙屋悦子の青春』（黒木和雄監督 原田知世主演）

舞台は、敗戦を間近に控えた鹿児島島の田舎まち。特攻攻撃が迫
る中、2人の男の決断は？そして女の決断は？『父と暮せば』
(04年)と同様、そんな悲しい決断はきっとあなたの涙を誘
うはず。退陣の迫った小泉総理の靖国参拝問題に一喜一憂する
ことなく、しっかりと自分の頭で、今年もまたやってくる「あ
の日」のことを考えよう。

『ココシリ』（^{ル・チュアン}陸川監督）

ココシリとはチベット語で「青い山々」、モンゴル語で「美しい
娘」の意味。この美しくも過酷な大自然の中、チベットカモシ
カの密猟者との闘いに命をかける男たちの姿を描いた感動作。
最近、中国映画が元気。張藝謀(チャン・イーモウ)、陳凱歌(チ
ェン・カイコー)の第五世代から第六世代監督の時代へ。『ココ
シリ』の他、『我愛你』『緑茶』『胡同のひまわり』『玲玲の電影
日記』『ジャスミンの花開く』も必見！

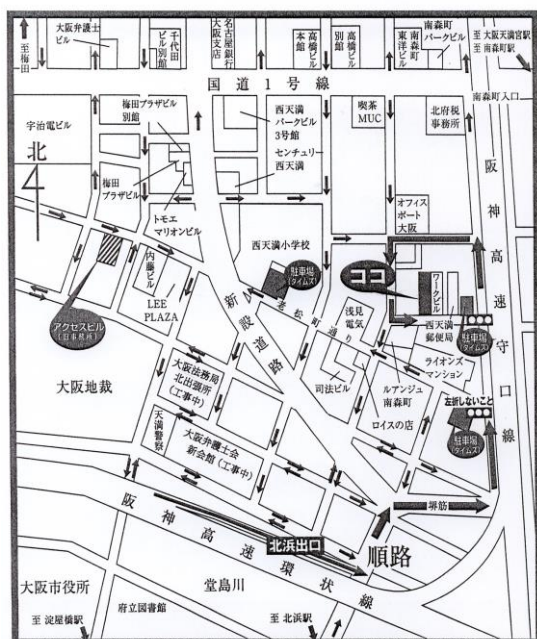
『グエムル ^{ハンガン} 漢江の怪物』(ホン・ジュ/監督 ヨン・ガン主演)

今年のカヌ映画祭で観客のド肝を抜いた怪物の姿と娘の救出
に奔走する韓国流の家族愛の強さに注目！
『日本沈没』と対比すれば日本人と韓国人の対応の差が一目瞭
然？

『トンマッコルへようこそ』(パク・クァンヒョン監督)

『タイフーン』『連理の枝』『DAISY』と最近あまり元気の
ない(?)韓流だが、今秋はこれで一気に挽回！トンマッコルは
朝鮮戦争すら知らない、自給自足の平和な村。そんなユートピ
アに連合軍パイロットの飛行機が墜ち、さらに韓国軍と人民軍
の兵士が次々と。そこで展開される人間ドラマは実に面白い。
そんな一時の夢もパイロット救出作戦によって吹っ飛ぶことにな
るが、そこで3組の兵士たちはどんな行動を？笑って、泣い
て、感動すること請け合い！

〔坂和総合法律事務所 業務時間ならびに周辺地図〕



地下鉄谷町線・堺筋線「南森町」徒歩5分
地下鉄堺筋線「北浜」徒歩6分
地下鉄御堂筋線・京阪「淀屋橋」徒歩10分
JR東西線「大阪天満宮」徒歩6分

業務時間

平日 午前9時～午後6時

土曜日 午前9時～午後3時

(業務時間外の相談を御希望の方はお申し出下さい。)

相談にこられる際は日時の予約をしていただき、

関係資料を一式持参して下さい。

また相談内容のメモを事前にFAXもしくはメールにて

いただければ幸いです。



←西天満コートビルの外観

坂和総合法律事務所フロア案内

3 階 坂和総合法律事務所

201 坂和事務所会議室

401 オーナーズフロアー

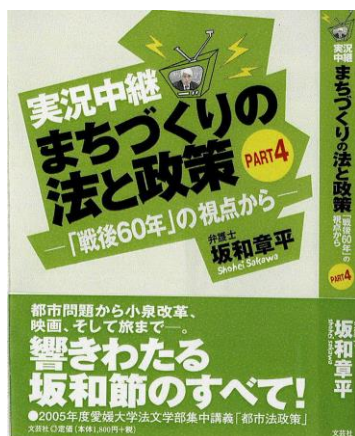
1階玄関はオートロックですので、当事務所にお越
しの方は「301呼出」を押して下さい。

坂和章平の自宅案内

〒530-0047 大阪市北区西天満3丁目8番4-1201号 朝日プラザ西天満
電話 06(6312)1789 FAX 06(6312)1788

出版物（新刊）紹介

ご注文は坂和総合法律事務所までFAX（06-6364-5820）もしくはメール（office@sakawa-lawoffice.gr.jp）にてお願いします。送料は実費をご負担いただきますのでご了承下さい。お支払は請求書を同封しますので、銀行振込にてお願い致します。



『実況中継 まちづくりの法と政策 PART 4 —「戦後60年」の視点から—』（文芸社）

定価1800円（税別）

1999年から2年ごとに坂和が愛媛大学法文学部で行っている「都市法政策」の集中講義をまとめた「実況中継シリーズ」の第4弾です。

『パート4』は2005年12月2～5日の集中講義をまとめたものです。「戦後60年」にあたる2005年の講義であるため、「戦後60年」の問題意識が顕著。さらに都市法の範囲を越えて、郵政民営化と9・11総選挙の意義、姉齒元一級建築士による耐震強度偽装問題の本質、西村眞悟議員の非弁活動事件の見方等々から映画ネタまで坂和節はとどまることをしりません。

本書の出版企画中に読者からパート4は出ないのか、とのうれしい問合せもあり、出版社をこれまでの日本評論社からシネマルーム等の出版で息づいた文芸社に変更し、自信をもってお勧めするものです。

知的好奇心をくすぐられること請け合いです。是非お読み下さい。

* * * * *

『ナニワのオッチャン弁護士、映画を斬る！ SHOW-HEYシネマルーム9』（文芸社）

定価1800円（税別）

映画評論家「SHOW-HEY」の映画評論本もはや9冊目となりました。

「SHOW-HEY」が2005年9月2日から2006年1月17日までの間に映画館もしくは試写室（会）で観た70本の映画評論を収録しています。公開前から「SHOW-HEY」が注目していた『男たちの大和／＼YAMATO』や第29回日本アカデミー賞主要12部門を受賞した『ALWAYS 三丁目の夕日』、三谷幸喜監督・脚本の『THE 有頂天ホテル』など話題の日本映画をはじめハリウッド映画、韓国映画、中国映画といずれも力作ぞろいです。

* * * * *

『いまさら人に聞けない「交通事故示談」かしこいやり方』 （セルバ出版）

定価1700円（税別）

坂和の得意分野は都市問題や映画評論（？）だけではありません。

昭和49年の弁護士登録以降今日まで31年間、一貫して交通事故の訴訟や示談を多数処理してきた坂和弁護士が、交通事故の加害者もしくは被害者になった場合に直面する疑問や悩み、不安に対する応えをQ&A形式にまとめました。

図表も多く入り読みやすい仕上がりになっています。

「備えあれば憂いなし」。交通事故の加害者や被害者にならないに越したことはありませんが万一に備え、勉強されてはいかがでしょう。また会社の事故担当者や保険代理店の方は必携で、ご自分の知識の再確認に最適です。



〔その他のお薦め本〕

愛媛大学法文学部での「都市法政策」の集中講義をまとめた『実況中継 まちづくりの法と政策』Ⅰ～Ⅲ

法曹界について坂和・吉岡・嶋津がそれぞれの視点で書いた『いま、法曹界がおもしろい！』

マンション建替え円滑化法を逐条ごとに解説する『注解 マンション建替え円滑化法』

景観法の条文にそってわかりやすく解説した『Q&Aわかりやすい景観法の解説』

ロースクールの教科書として大活躍の『実務不動産法講義』

坂和弁護士の青春時代から、まちづくり、都市計画についてのコラム・評論、映画評論、旅行記までをまとめた

『がんばったで！31年 ナニワのオッチャン弁護士評論・コラム集』

映画評論家SHOW-HEYの初々しい処女作『シネマルームⅠ』や『シネマルームⅡ』『Ⅲ』『4』『5』『6』『7』『8』も大好評発売中です（パート5は中国映画特集、パート8は韓国映画特集）。ご注文は同封の注文書で。お待ちしております。